

株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道（所在地：札幌市）



高速道路での現場作業の様子



朝の始業前のストレッチ



体力測定会の模様

■企業概要

- 設立：1984年
- 資本金：6,000万円
- 従業員：351名
- 事業：サービス業

■健康経営へ取り組むきっかけ

- 中期経営計画を2021年に策定。従業員が健康に働く環境の重要性を認識し、健康経営の取組に着手。2024年には産業保健師を雇用し取組を強化。

■健康経営に関する取組内容

- 産業保健師が中心となって受診勧奨（健康診断の二次検査）を徹底。特定保健指導は原則全員が実施。
- 産業保健師が各事務所で健康講話や健康測定会を実施。EAP（従業員のメンタルヘルス支援プログラム）を整備。
- 外部の禁煙プログラムを会社負担で提供。プログラム完了者が次の実施者にエールを送る「卒煙バトン」で後押し。
- 理学療法士が体力測定会を開催。加齢による体力低下を踏まえて転倒や腰痛を予防。また、朝の健康習慣づくりとして、始業前にストレッチを実施。ウォーキング大会の開催やスポーツに関連した費用補助を行い、従業員・家族間のコミュニケーションの活性化を推進。
- 栄養学科の学生と連携し「ひとり暮らし簡単クッキング」の実演を実施。

■取組の効果

- 夜間作業や現場作業が多い労働環境下で、禁煙率の低下やメタボ該当者が減少し従業員の健康状況が改善。残業時間の減少など労働環境改善にも好影響。
- 従業員の健康を把握する立場として役割の大きい産業保健師が、従業員と顔のみえる関係を構築することは健康経営を推進する上で有効。